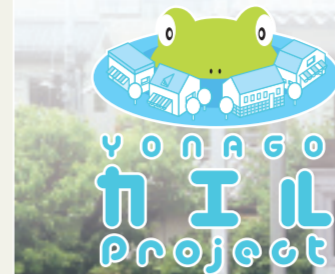


かえる、ふりかえる!

そして、次のステージへつなげる

特集 米子市中心市街地活性化の軌跡
よなご・かえるプロジェクトをふりかえる



米子市中心市街地の情報発信と
まちなかのライフスタイル提案
情報発信中!
よなご・かえる通信WEB
<http://www.yonago-kaeru.jp>

まちなか居住の推進

ただいま進行中!

②サービス付き高齢者向け住宅まちなか 高齢になってからも、住み慣れたまちなかで 便利で安心に暮らす

平成23年5月にオープンした、[シニアマンションこやまち号館]に続き、にぎわいライオン館の低層部を低層部を活用したまちなか居住の推進とにぎわい再生を図る、「サービス付き高齢者向け住宅まちなか」が2月に着工しました。

【事業概要】

敷地面積	約1900㎡
延床面積	約2300㎡
構造	鉄骨4階建
住宅	57室
運営	社団法人協栄会
事業計画	一般社団法人 ふるさと再生機構
平成25年12月	オープン予定



わいの街の形成を図り、「水と緑と光のネットワークによる賑わい創出」をコンセプトとした、新しいまちづくりを目指して動き出しました。

計画では、今年度以降、アーケード撤去に伴う路面等の整備の他、笑い庵に同居するカフェと農産物直売所の事業拡大と地産食材にこだわった農家レストランの展開、さらには、先行して、笑い通り商店街の空き店舗を活用し、[笑い庵参番館]として、高齢者福祉の拠点や生活協働組合と連携した夕食宅配サービス等を行っています。

①笑い通り商店街商業環境整備事業 *水と緑と光のネットワークによる賑わい創出。

平成11年、中心市街地や商店街の衰退を見かねて、地域住民のコミュニティの場をつくり、自力でまちを活性化しようとして開設された[笑い庵]。開設から10年を迎えた平成22年9月には、築150年の古民家を改装し、[地域交流センター笑い庵]として新しく生まれ変わりました。あれから2年半。[地域交流センター笑い庵]を核とする笑い通り商店街が、老朽化したアーケードを撤去し、中心市街地の東西軸(歴史・文化軸)でもある旧加茂川とまちのシンボルのお地蔵さんを活かした、快適性と回遊性、コミュニティ豊かな広がりや賑

新たな地域の支援活動に取り組みます。

井上和典さん NPO法人 地域福祉ネット まちなかサービス事業部

平成20年より、「地域を支える」というコンセプトのもと、高齢者や障がいのある方々の生活支援活動を行ってまいりましたが、この度、笑い通り商店街の空き店舗に入居することができ

ました。今期は鳥取県生活協同組合さんや子育てグループの方々と連携し、日用品や食材の提供をはじめとした新たな地域の支援活動に取り組んでいこうと計画しています。



まちなか広場メッセージ

四日市町の魅力を、 大人の方々に気づいてもらえたことが 中活の一番の効果

四日市町が感度が高くセンスがいでなくて、しっかりと営業をしていることに気づいてもらえた。商店街に2店舗を構えています。この5年間で商店街へのお客が増えたと感じています。それは、行政をはじめ、まちづくりを支えてくれた皆さんのおかげだと思います。個店の力ではできないことを、中心市街地活性化基本計画の中でとりまとめ、進めていただき、そのうえで四日市町に注目していただきました。

少し前まで、四日市町は、どちらかと言うと個性的な若者が集まる場所でした。それが、まちなかの施設整備の進行や四日市町のオーナー達の年齢層、趣味志向の変化に伴い、今まであまり見かけなかったファミリー層が四日市町に来られるようになり、様々な年齢層の方々を訪れ、歩いて楽しい四日市町となってきました。

[若者の街]と見られがちだったのが、感度が高くセンスがいでなくて、しっかりとした営業をしていることに気づいてもらえたことが中心市街地活性化の一番の効果だと感じています。

四日市プロジェクトとしても同じように思っており、若者をターゲットとしたイベントから、大人、家族連れまで、皆が楽しんでいただけるようなものに意欲を向けてやっていきたいと思っています。



落合拓朗さん
有限会社THINKKACO、代表取締役
(四日市プロジェクト イベント実行委員長)

発行 / 米子市中心市街地活性化協議会 〒683-0823 鳥取県米子市加茂町2-204 (米子商工会議所内)
TEL.0859-22-5131 FAX.0859-22-1897 E-Mail. tmg1@yonago-chukatsu.jp
編集・撮影 / よなご・かえるプロジェクトチーム (田中国彦・重野雄一・大森圭)



よしみち通り

【施設概要】		【路面整備】	
元町パティオ	全長	約295m	
面積	653㎡	排水性ブロック舗装	7層
水飲み・洗い場	1式	街路灯(LED)	21基
音響施設	1式	来待石のフットライト	1基
広場照明灯(LED)	4基	常夜灯	1基
木製ベンチ	5脚	木製ベンチ	10脚
植栽(薬木等)	10本	植栽(薬木)	30本



善五郎蔵

[ピリケン広場]

法勝寺町まちなかコミュニティパーク構想
味の横町名店街

完成!

元町通り商店街 商業環境整備事業 ～風かほる元気なまち・元町サンロード～

元町通り商店街は、以前から「元町サンロード」として親しまれてきました。平成23年4月にアーケード撤去に着手し、翌年の平成24年3月には、アーケードの完全撤去が完了。その後、下水道・上水道・ガス管工事を含む路面整備と元町パティオの施設整備を進めてきました。そして、平成25年春、「商店街の公園化」をテーマに環境整備を進めている、ほっしょうじ通りと連続した新しい通りが完成し、ほっしょうじ通りと元町パティオ、元町サンロードが1つのエリアとしてつながりました。新しい元町サンロードと元町パティオにご期待下さい。



遠藤至弘さん
元町通り商店街振興組合 理事長

2年間にわたる元町通り環境整備事業が終わり、街の雰囲気ガラッと変わりました。工事中は、お客様やご通行の方には大変ご不便をお掛けいたしました。現在は、通りを歩く人の顔が明るく、「良くなったね」、「明るくなったよ」とお声を掛けていただき、

店主も隔気に誘われて店頭に出て「店主の顔が見えるお店」になりつつあります。元町通りには、「香りを楽しみ、健康にも役立つ薬木」を並べ、地元自治会の皆様と一緒にして街をきれいにしていこうと、協力体制を確立中です。これも、今までにはなかったこと。

これがゴールではなく、「これからがスタート」として、近隣のほっしょうじ通りやほとんどと連携し、他の商店街の皆様と一緒に、楽しく元気な空間になる様に、皆で協力しあいながらまちづくりに向かってまいります。

これから「米子のまちなか」がもっと楽しくなりますよ。

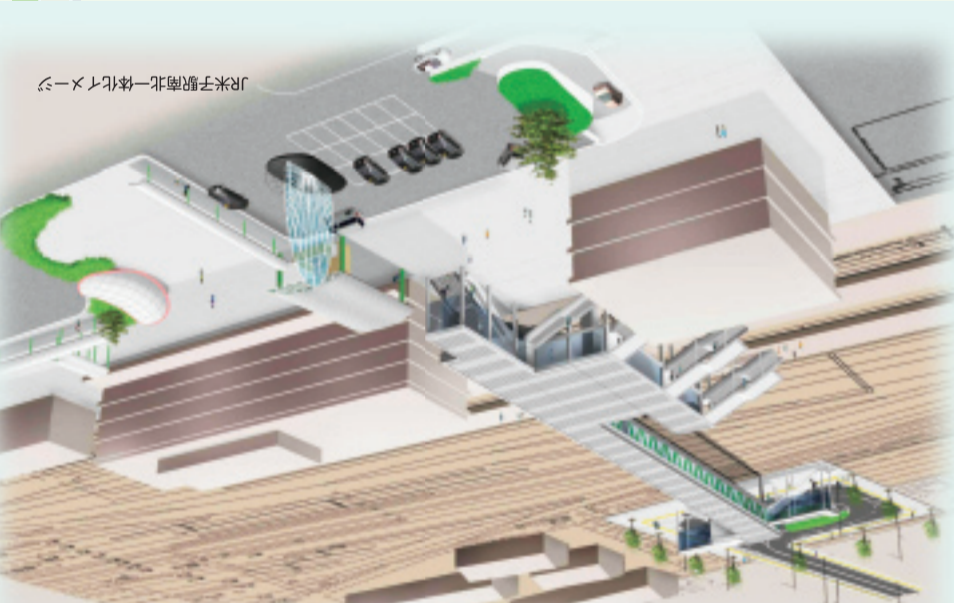


石賀治彦さん
まちづくり会社(株)法勝寺町 代表取締役

元町通りが完成して、元町パティオとほっしょうじ通りが線から面となって広がりました。今後、このまちで暮らしながら、「住みたいまち、共に生きたいまち」を目指し、元町通りと共にまちづくりを模索していきたいと思ひます。

「米子のまちなか」が
もっと楽しくなります

このまちで暮らして
共にまちづくりを



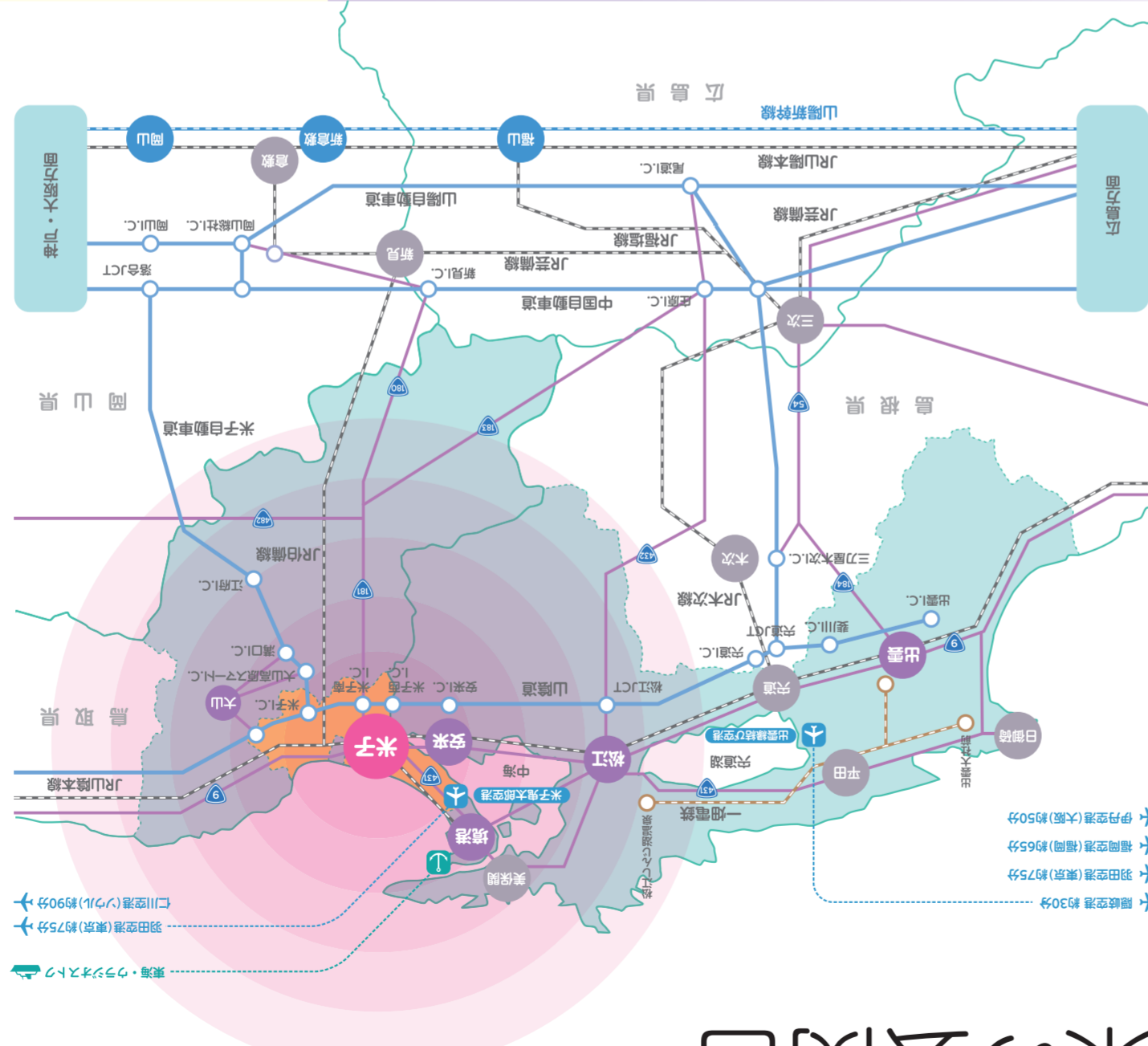
活かし、中心市街地活性化基本計画の将来像である「人が集まり、歩いて楽しく、元気に暮らす中心市街地生活充実都市・米子」を背景に、進められた生活環境や充実した都市機能を有する山陰の中核的な都市圏として目指しています。

今後、道州制や地方分権が進むと推測されるなかで、少子高齢化社会への対応や持続可能なまちづくりの可能性、周辺地域との連携点であり、本圏域と他地域と結び、更に近距離の四車線化の促進とともに中心市街地交通ネットワークが広がっており、本圏域の内外的な交通の要衝となっています。

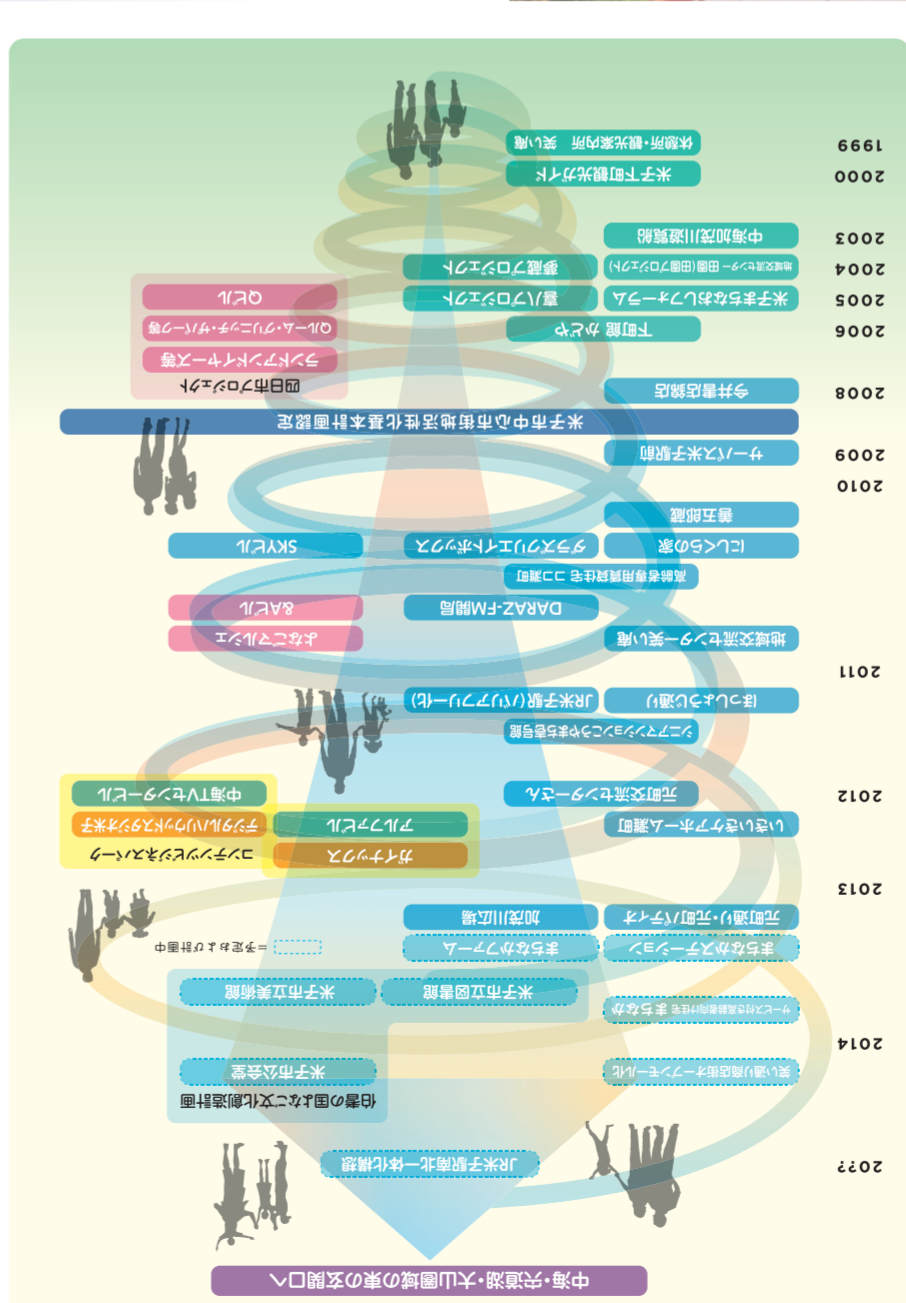
また、今春には、鳥取自動車道、松江自動車道が全開通するとともに、鳥取県内を横断する山陰自動車道の全開通にも明るい日差しが見えてきたところです。

米子市の中心市街地は、この立地環境をみかめられます。

恵まれた立地環境を活かし、
まちなか公園をさらに元気に!



米子市中心市街地から中海・宍道湖・大山圏域の 東の玄関口へ



米子発!

小規模連鎖型のまちづくり



中心市街地や商店街の衰退を見かねて、事業者の動きが再開して始まった「米子市中心市街地活性化基本計画」よなご・かえるプロジェクト。5年間で多くの「笑い庵」が誕生し、まちが劇的に変化した。その最大の特色は、まちなかを劇的に変える「加茂川」に「笑い庵」が住民の手づくりで、地域に寄りかかると「笑い庵」が誕生した。その多くの人達の出会い、「かえり」が実現した。そして、平成20年11月、民間

